

令和元年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業 研究協議会

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校

目次

1. 研究主題
2. 研究内容
 - ① 「書くこと」領域と「語彙」に関する内容の実践
アー「書くこと」領域における指導方法の研究
イー「語彙」に関する指導方法の研究
 - ② 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫
 - ③ 公立学校と連携した年間学習指導計画の作成
3. 成果と課題

研究主題

言葉による見方・考え方を働かせ、
正確に理解し表現する資質・能力を
育成するための指導方法とその評価
—新学習指導要領の全面实施にむけて—

目次

1. 研究主題
2. 研究内容
 - ① 「書くこと」領域と「語彙」に関する内容の実践
アー「書くこと」領域における指導方法の研究
イー「語彙」に関する指導方法の研究
 - ② 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫
 - ③ 公立学校と連携した年間学習指導計画の作成
3. 成果と課題

- ①「書くこと」領域において表現・交流することを重視した言語活動を通じて、特に、「書くこと」領域と「語彙」に関する内容との関連を図り、資質・能力を育成するための指導方法の研究。



語彙

書くこと

・言葉の例示

「三月の仕方」 とあるように
 「と書かれているように」
 「又表現
 「と述べている」「と考へられ
 る」「と感じられる」「なのか」
 「云々についてくる」「という理由もわ
 かる」となる。
 「接続詞」
 「これゆゑ」「しかし」「そのう
 え」「ます」「次に」「あるは」「
 の言葉」「で」など

背骨、設定、描写、文脈、展開、意
 図を示唆する根拠となる理由、結
 果、事象、判断、道理、是非、
 正誤、価値観、意味、最善、可能性
 行、価値観、倫理、認識、原則性
 が自然な
 肩の荷が下りる、胸が痛む、虫を砕く
 肩の荷が下りる、虫の息など

以て高きと云ふが如くである。私謂ふには、帝室親王は漢を以てし、自ら
 意に著るの自己決定権を尊重するべきであ
 るに、これこそ共感した。国策の見込外が、
 行状は、弟角田と深雲親王を保護して、いま遠
 征の地を行動である。

- ・収集した語句の使用

変遷	意味	例文
	例文	例文
魅力	意味	例文
	例文	例文

…その魅力をもっと積極的に知るべきだ。

激しい時代の**変遷**に、柔軟に対応しつつ：

け	ま	つ	
組	親	下	九
が	に	あ	谷
イ	村	う	焼
イ	だ		
い	た	世	
う	わ	里	
て	う	に	
は	こ	づ	
い	ち		
も	負	激	
の	さ	し	
た		い	
	化	明	
	が	今	
	傍	の	
	主	二	
	に	娯	
	受	楽	
		の	
		一	

1. 研究主題
2. 研究內容

- ① 「書くこと」領域と「語彙」に関する内容の実践
アー「書くこと」領域における指導方法の研究
イー「語彙」に関する指導方法の研究
 - ② 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫
 - ③ 公立学校と連携した年間学習指導計画の作成
3. 成果と課題

①-ア 「書くこと」領域における指導方法の研究

第2学年

「根拠や想定される反論を考え、自分の意見をより明確にしよう」
(光村2年「根拠を明確にして意見を書こう」)



次	時	○学習内容(わらい)・学習活動
一	1	○標語の明確な意見文について考える。 ・学習の進捗をもつ。 ・構成文でも必要ポイントを標語する。 ・伝統文化に対する自分の意見を書きたす。 ・次第の理解を確認する。
	2	○意見に対する賛成や反対される反論を考へ、自分の意見より明確にする。 ・特徴の理解を確認する。 ・グループでお互いのテーマや標語に対する見出しを出す。 ・どんな話し合いができたか、全体で調査する。 ・構成文でも完成させる。

根拠や具体例が適切か確かめる

目 録	三	○書き手を排除し、根拠の明確な意見文に仕上げる。 ・下書きを書く。 ・下書きを排除する。 ・類義語や対義語を意圖して、より適切な表現を導く。 ・意見文を完成させる。
	二 1	○意見を話し合い、意見の明確さや深まりについて話し合う。 ・完成した意見文を交流する。 ・グループから良い作品一つを選び、全体で交流する。 ・学習を振り返る。

研究授業よりー有効な根拠や反論について話し合う



野々市じよんからを残すメリットはあるのかと考える人もいいると思う。

←

地域の交流を促すのにとっても効果的である。私も小学生の時、上級生から教わった経験がある。

じよんからには人と人をつなぐ力がある。

●東京文芸会に於ての講演について

最初に考へていた反論に自分でも違和感をおぼ
ていたが、ゲルリッで話し合つたことで逆転の発想で
成内容も考え盡し、納得のいくものになつた。意
女では他の人が用いていたエタも取り入れてみない

私は、一人一人が野々市じんからを未来
へ受け継いでいくという責任を持って、野々
市の誇りある伝統として後世に残していくべ
きたと思ふ。

●東京文芸会に於ての講演について

最初に考へていた反論に自分でも違和感をおぼ
ていたが、ゲルリッで話し合つたことで逆転の発想で
成内容も考え盡し、納得のいくものになつた。意
女では他の人が用いていたエタも取り入れてみない

●考えたことや、意見文に生かしたいことを書こう。

①ーア 「書くこと」領域における指導方法の研究

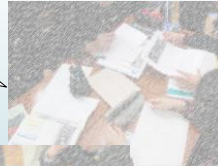
第3学年

「引用する資料を適切に使い、説得力のある文章を書こう」

(光村3年「説得力のある文章を書こう」)より

次	時	○学習内容(わらい)・学習活動
1	1	○説得力のある文章にするためにはどうしたらよいかを考え、これまで学んだことを生かして「学校で書ける学必書」は例だと考えますか。という高年生からの問いに答える文章を書く。 ・学習のねらいや進め方をわかむ。 ・今まで学んできた高学年にほどのようなものがあったのかを振り返る。 ・自分の経験に基づいて文章を書く。
2	2	○引用する資料の妥当性を考え、話し合うことを通して、説得力のある文章を書く。 ・自分の考えにつながる資料を準備し、考えの根拠としてよさわるいかどうかを班で話し合う。 また、信頼性の信頼性を確かめる。 ・足りない資料がある場合は例が見られないのか、また、必要な資料をどのように引用するのか、自分の考えとつながるように整理する。
3	3	○表現の仕方を考え、資料を適切に引用して、説

書籍やインターネットから
収集した資料の妥当性を検討する
生徒の様子



- 表現の仕方を考え、資料を適切に引用して、説得力のある文章を書く。
・引用部分を明らかにした上で、資料が伝えたいことと自分の考えとの関係について補足しながら文章を書く。
・「感動」か「心動かされる」か、「グローバル化」か「国際化」かなど、語句の使い分けを考える。言葉の意味を調べる。
- お互いの文章を読み合い、高年生の問いに答えられるような説得力のある文章を撮る。また、推敲し、自分の文章を書き直す。
・お互いの文章のよい点や改善点を話し出す。
・再度文章を推敲し、完成させる。

引用例
「枕草子のたくらみ
『春はあけぼの』に秘められた思い」
山本淳子 朝日新聞社

香炉の雪
……日常をときめかせる知的な飾りだった。
定子や清少納言の感じ方が表現されている。

「これなら読めるやさしい古典『枕草子』」
長尾 剛 汐文社

第六段「大進生昌が家に」
……「枕草子」を読むいくつかの時代のあれでも「あ、い、わ、れ、て、み、れ、ば、そ、の、通、り、で、も、そんなこと、とても気づかなかったし、思いつきもしなかったな」と納得して……

「枕草子」を取り上げて書くにあたって、
複数の資料を調べ、比較している。

①ーイ 「語彙」に関する指導方法の研究

高瀬舟より「疑懼」
意味…疑って不安に思うこと
類義…危惧、心配、憂慮、懸念：
(いかに庄兵衛が
懸念しているかが伝わる)

2/16(水) 改題

「打たれぬは心・無常・生活・世に事・心・高瀬舟の」

① 強い心・高瀬舟・高瀬舟・高瀬舟

② 絶望・挫折・高瀬舟

2/16(金) 高瀬舟

「太夫にや・高瀬舟・高瀬舟・高瀬舟」

③ 疑・高瀬舟・高瀬舟

④ 危懼・高瀬舟・高瀬舟

2/16(月) 高瀬舟

「高瀬舟・高瀬舟・高瀬舟・高瀬舟」

⑤ 疑・高瀬舟・高瀬舟

⑥ 危懼・高瀬舟・高瀬舟

⑦ 高瀬舟・高瀬舟・高瀬舟

①ーイ 「語彙」に関する指導方法の研究

※これまでに語彙調べの成果をまとめた。使ってみよう。

日時	語彙	辞書で調べて本文につく
12/3	思いこみ	意味 思いこみ強い
12/9	危懼	意味 大きな心で心配すること
12/12	臨機応変	意味 状況に応じて柔軟に対応すること
12/13	過剰	意味 必要以上に多いこと
12/14	悠然	意味 ゆったりとした様子
12/17	収束	意味 広がりが止まること
12/18	俗説	意味 俗に伝わる説話
12/19	冒険	意味 危険な冒険
12/20	危殆	意味 危険な状態

◎上の言葉をついて、一文を作りなさい。(複数可)

「この線が精密な構図で説明すると多くの人が感嘆した。」

「偶然起こった出来事に、会場がざわついた。」

◎上の言葉を使うだけで、短い物語を作りなさい。(新たに調べる言葉は3つまで可)

「俗説が世間になまり、過剰に思われるが、その中で、うわさに流され、悠然と構図、臨機応変で行動している人に、早くとわかれ、収束しないものか、危殆に陥り、インターネットで正しい情報を発信した。」

1. 研究主題
2. 研究內容

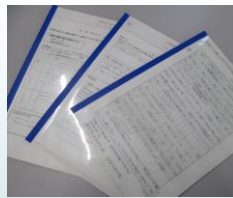
- ① 「書くこと」領域と「語彙」に関する内容の実践
アー「書くこと」領域における指導方法の研究
イー「語彙」に関する指導方法の研究
 - ② 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫
 - ③ 公立学校と連携した年間学習指導計画の作成
- ### 3. 成果と課題

➡② ①と関わって、新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫。
(特に、言語活動を通した思考力・判断力・表現力等の学習評価の在り方について)

生徒自身にも成果や課題が
目に見える形で確認できる手法

文章

文章

[illegible]

資料

[illegible]

交流

表 1 2007 年 10 月 1 日以前和 2007 年 10 月 1 日以后新办企业的认定标准 单位: 万元	
序号 认定标准 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

自由記述に

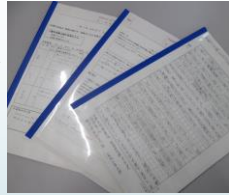
▽説明文を書いたことや他の人の説明文を読んだことから感じたこと・考えたこと

自分の説明文を自分で読み返して推敲したときは「完璧だ!」と思っていたので、冷静に自分の悪いところは見つからなかったけれど、他の人と交流すると改善点が大量に出てきた。自分の文を読んだときは出てこないのに、他の人の文を読むと改善点が出てきて不思議だと思った。○○さんや○○さんのように要点をしぼって簡潔な文を作るのが課題です。

● 評価の項目例

- ・根拠を明らかに考えを
 - ・書くことができたか。
 - ・他者の考えや事実を引用し、書くことができたか。
 - ・言葉の吟味できたか。
- 記述によるふり返りも項目と同じ内容に。

文章

[illegible]

文章に関する
工夫点や
改善点の把握

資料

[illegible]

交流

[illegible]

研究授業より－高校生による評価

- 主張する内容の根拠として
適当であるか。
- 理由付けの際の
論理展開が正しいか。

・理由付けの際の
論理展開が正しいか。



目次

1. 研究主題
2. 研究内容
 - ① 「書くこと」領域と「語彙」に関する内容の実践
アー「書くこと」領域における指導方法の研究
イー「語彙」に関する指導方法の研究
 - ② 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫
 - ③ 公立学校と連携した年間学習指導計画の作成
3. 成果と課題

- ## 2. 研究内容

- ①「書くこと」領域と「語彙」に関する内容の実践
アー「書くこと」領域における指導方法の研究
イー「語彙」に関する指導方法の研究

アー「書くこと」領域における指導方法の研究

イー「語彙」に関する指導方法の研究

- ## ② 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫

- ### ③ 公立学校と連携した年間学習指導計画の作成

- ### 3. 成果と課題

研究内容

- ③公立学校と連携した、
新学習指導要領を踏まえた
年間学習指導計画の作成。

活動の実効性の検証や、有効な実践例の反映

[illegible][illegible]

- 「書くこと」領域において、ねらいとしていた指導事項に迫ることができた。
- 使うという目的意識をもって、語句の収集に取り組むことができた。
- 「読む相手」が明確になることで、書く際の目的意識を明確に持たせることができた。

- 学習評価の客観性の検討が不十分。
- 「語彙」に関する，学年代階に応じた手だての検討。